

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-08-01

# APM news 174

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第42回APM課外授業 5月29日(月)am10:50~am11:55 / 受講者:76名

### 「上組小学校6学年 APM見学」



長岡市立上組小学校(上組小)と秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、APM開館の2009年以来、8年間の交流を続けてきた。上組小では「美術」に力を入れた教育を行っており、一方APMでは活動目的のひとつに「教育」を掲げている。

上組小では6年生になると、校内に設けた「こだま美術館」を1年間かけて企画・運営していく。「地域の人々や作品とのふれ合いを通してそれらとつながり、自分の生き方を考えようとする態度を育てる」ことを目標に掲げ、活動している。自分で制作した作品を展示するだけでなく、学芸員として作品を解説したり、美術館を訪れて学芸員の仕事を学んだり、地域の人々の協力を得て校外で展示したりする。今回のAPM見学では、展示作品の鑑賞とともに、館長・秋山孝やAPMについて、更に学芸員の仕事について説明を受けたいと訪れた。

APM学芸員のたかだみつみが、秋山館長やAPMの活動内容について説明した。APMの建物はかつて北越銀行であり、金庫扉がその名残として残されていることや、各壁の名前とその由来を説明すると、6年生は面白そうに館内を見渡した。国の登録有形文化財にも登録されたAPMの建物は、1925年に建てられ、1945年の長岡空襲、2004年の中越地震といくつもの災害を経験してきた。長岡空襲の際にはAPMの北側までで炎が止まったことから北側壁面を「火の壁」、中越地震の際にひび割れた窓ガラスを保存してあることから南側壁面を「地の壁」と呼んでいる。

学芸員の仕事については、「研究」「伝える」「保存」「サービス」の4つがあげられると説明し、「自分が作品を見て受けた感動を、どうやったら他の人に伝えられるか工夫してほしい」と、たかだ学芸員は語った。

最後に、展示中の「秋山孝の神秘3『パラダイム』展」を鑑賞した。それぞれ一番気に入った作品を模写し、数名が全員の前で発表した。どうしてその作品を選んだのか、どこが好きなのか、どういう風に解釈したのか、自分の受けた感動を相手に伝えるのは難しいと実感したはずである。6年生はこれから1年間かけて「伝える」力を磨いていこう。 (森山奈帆・APM職員)